

# WHO news June 2021

2021年6月1日

## [Update from the Seventy-fourth World Health Assembly – 27 May 2021](#)

- New resolutions on diabetes, health for people with disabilities; malaria; oral health
- Decisions on eye care; HIV, Hepatitis and STIs; neglected tropical diseases, noncommunicable diseases
- WHO programme budget approved 2022-2023

### **世界保健総会 2021 決議（その1）**

今年の第74回世界保健総会で、以下が決議されました。

《決議：RESOLUTIONS》

- 糖尿病の予防と管理の優先度を上げる

新たな決議は、糖尿病の予防、診断、管理、および肥満などの危険因子の予防と管理の優先順位を高めることを加盟国に求めています。

- 世界障害者行動計画 2014-2021 において障がい者を包括的に取り込む

2022年未までに障害者の達成可能な最高水準の健康に関する報告書を作成すること、国連の障害者インクルージョン戦略を組織のすべてのレベルで実施すること等がふくまれています。

- マラリア撲滅に向けた前進を再活性化する

マラリアは、サハラ以南のアフリカに住む5歳以下の子どもを中心に、毎年40万人以上の命を奪い続けています。

- 口腔ケア専門家の強化と、治療から予防的アプローチへシフト

従来の治療的なアプローチから、家族や学校、職場での口腔保健の推進や、プライマリーヘルスケアシステムでのタイムリーで包括的なケアを含めた予防的アプローチへの移行を推奨しています

《決定：DECISIONS》

- 目の屈折異常と白内障手術の効果的な普及を世界目標とする

屈折矯正手術の適用範囲を40%、白内障手術の適用範囲を30%拡大する

- HIV、ウイルス性肝炎、性感染症に関する世界保健セクター戦略

現行の保健分野戦略が今年で終了することから、2030年までのギャップを埋めるための新たな戦略の策定を求めました。

- 顧みられない熱帯病（NTD）の日の設定

2030年までの新しいNTDロードマップは、NTDが10億人以上の人々の健康、社会、経済に与える壊滅的な影響を緩和することを目的としています

- 非感染性疾患に関するSDGs目標達成のための新たなロードマップの作成

2023年から2030年までの実施ロードマップを作成するよう世界保健機関に要請しました

- 2022 - 2023 年プログラム予算の（2 年に 1 度）編成  
2022 - 2023 年の予算案 US\$6 121.7 mill.を承認しました。

---

2021 年 6 月 1 日

## [Update from the Seventy-fourth World Health Assembly – 28 May 2021](#)

- New resolutions on the health and care workforce and strategic directions for nursing and midwifery
- Decisions on patient safety; health, environment and climate change; chemicals management; coordination of work on noncommunicable diseases
- Global Action Plan for Healthy Lives and Wellbeing for All
- Prevention of sexual exploitation, abuse and harassment

### **世界保健総会 2021 決議（その 2）**

第 74 回世界保健総会で、以下が採択されました。

- 医療・介護従事者に関する新たな決意と看護・助産師の戦略的方向性  
背景：COVID-19 パンデミックでは、パンデミックの最前線で、健康、福祉、安全に関わる複数のリスクに直面するすべての医療・介護従事者の重要な役割が浮き彫りになりました。また、各国が看護師・助産師が集団の健康成果に最大限の影響を与えることができるよう、教育、仕事、リーダーシップ、サービス提供に関する政策提言を行っています。
- 患者の安全性に関するグローバルアクションプラン 2021-2030  
背景：毎年、世界では何百万人もの患者さんが安全でない医療によって負傷したり死亡したりしており、中低所得国だけでも年間 1 億 3400 万件の有害事象が発生し、260 万人の死亡につながっています。高所得国においても、患者の約 10 人に 1 人が病院で治療を受けている間に被害を受けています。これらの事象の約半分は防ぐことができると言われています。
- 健康、環境、気候変動に関する世界戦略  
背景：2019 年の「健康、環境、気候変動に関する WHO の世界戦略健康な環境を通じて、生命と幸福を持続的に向上させるために必要な変革」の実施に向けて、重要なステップがすでに始まっています。その中には、生物多様性と健康に関する「緑と健康の回復のための公約」、医療施設における水・衛生・トイレに関する推進活動、「すべての人のための手指衛生」グローバルレベルの問題解決行動の立ち上げ、来る COP-26（国連気候変動締約国会議）に向けた健康メッセージ、鉛中毒防止のためのグローバル・キャンペーン、健康と環境に関する各国の行動を支援するための様々な地域行動計画やフォーラムなどが含まれています
- 国際的な化学物質管理と保健セクターの役割  
背景：化学物質管理における保健分野の重要な役割と、すべての保健プログラムに化学物質管理を主流化する必要性を強調しました。事務局に対し、2020 年以降の戦略的アプローチや化学物質・廃棄物の健全な管理に関する提言を準備するために、ロードマップを更新するよう要請し

ました。

- 非感染性疾患のためのグローバルコーディネーションメカニズム（GCM）を 2030 年まで延長

背景：非感染性疾患のためのグローバルコーディネーションメカニズム（GCM）が 2030 年まで延長されることになりました。GCM は 2014 年に設立されました。その有効性を高めるために、GCM が責任を持つ 5 つの機能を実現するための作業計画の策定が含まれます。

- すべての人のための健康な生活と福祉のためのグローバルアクションプラン SDG GA

背景：プライマリー・ヘルス・ケアを強化し、「女性・子ども・青少年の健康に関する世界戦略」の目標に向けて、GAP が重要な役割を果たすことが指摘されました。また、GAP は国レベルでの影響を重視しており、公平で強靱な復興を支援する上で重要な役割を果たしていることも強調されました。

（注）GAP : the Global Action Plan for Healthy Lives and Wellbeing for All

- 性的搾取、虐待、ハラスメントの防止

背景：性的搾取や虐待（PSEA）、ハラスメントを防止するために、WHO が組織のあらゆるレベルで行っていることを紹介しました。WHO は、PSEA とセクシュアルハラスメントに対して、包括的、全体的、生存者中心のアプローチをとることを約束し、政策、能力開発、運営の各分野で行動を起こしています。

---

2021 年 6 月 1 日

## [Update from the Seventy-fourth World Health Assembly – 29 May 2021](#)

### **New resolutions on:**

- Local production of medicines
- Ending violence against children
- Addressing social determinants of health

## **世界保健総会 2021 決議（その 3）**

第 74 回世界保健総会で、以下が決議されました。

《決議：RESOLUTIONS》

- 医薬品の自国生産化と保健技術の普及

近年、自国で医薬品を生産可能とすることについて、WHO の支援を求める加盟国の声が高まっています。COVID-19 のパンデミックによって、mRNA 技術のような革新的で効果の高い医療製品を含め、世界のあらゆる地域で質の高い製造能力を強化することの緊急性をさらに高まりました。

- 子どもへの暴力をなくす

毎年、約 10 億人の子どもたちが身体的、性的、心理的な暴力の影響を受け、負傷、障害、死亡

のほか、両親や養育者間の暴力を目撃することによる悪影響を受けています。個人や家族への直接的、生涯にわたる悪影響に加え、子どもへの暴力は、健康や教育への投資を損ない、将来の世代の生産能力を損ないます。

- 健康の社会的決定要因への取組み

健康の不平等は人種差別、性差別、階級差別、戦争などの差別や迫害によって引き起こされることがよくあります。そして、それらは健康のあらゆる側面に影響を与えます。

低・中所得国（LMICs）の最貧困世帯の子どもたちは、最富裕世帯の子どもたちに比べて、5歳の誕生日を迎える前に死亡する確率が2倍高いとされています。豊かな国の人々は、貧しい国の人々よりも16年も長く生きています。

---

2021年6月1日

## [WHO supports people quitting tobacco to reduce their risk of severe COVID-19](#)

- WHO Director-General Special [Awards for World No Tobacco Day](#) announced: Minister of Health India and University of Bath for exceptional achievement in tobacco control.
- Smokers face a 40 – 50% higher risk of developing severe disease and death from COVID-19.
- WHO partners with [Viber](#), [WhatsApp](#), FB Messenger, WeChat and AI company Soul Machines to reach billions with free digital quitting tobacco aids.

## **COVID-19 重症化リスクと禁煙**

喫煙者は、COVID-19の重症化や死亡のリスクが40~50%高いとされています。

WHOのタバコキャンペーン「Commit to Quit (禁煙の決心)」では、1年間のキャンペーン開始からまだ5ヶ月も経っていないにもかかわらず、10億人以上のタバコユーザーが「禁煙ツールキット」を自由に利用しています。

Quit Challenge (禁煙への挑戦) は、たばこを吸わない状態を維持するためのヒントや励ましを、最長6カ月間、毎日通知します。WhatsApp、Viber、Facebook Messenger、WeChatで無料利用できます。

---

2021年6月2日

## [The Seventy-fourth World Health Assembly closes](#)

More than 30 resolutions and decisions were adopted at this year's World Health Assembly in different areas of public health: decisions on diabetes, disabilities, ending violence against children, eye care, HIV, hepatitis and sexually transmitted infections, local production of medicines, malaria, neglected tropical diseases, noncommunicable diseases, nursing and midwifery, oral

health, social determinants of health and strategic directions for the health and care workforce. In his closing remarks, WHO Director-General Dr Tedros Adhanom Ghebreyesus reminded delegates that the theme of this Assembly was “Ending this pandemic, preventing the next: building together a healthier, safer and fairer world”

## **第 74 回世界保健総会閉幕**

今年の世界保健総会では、公衆衛生のさまざまな分野で 30 以上の決議や決定が採択されました。糖尿病、障害、子どもへの暴力の根絶、眼科医療、HIV・肝炎・性感染症、医薬品の現地生産、マラリア、顧みられない熱帯病、非感染性疾患、看護・助産、口腔保健、健康の社会的決定要因、医療・介護従事者の戦略的方向性に関する決定です。

総会で焦点となったテーマは以下の通りです。

### 1) 健康危機への WHO の備えと対応力の強化

決議の詳細については以下のサイトをご覧ください。

[https://apps.who.int/gb/ebwha/pdf\\_files/WHA74/A74\\_ACONF2-en.pdf](https://apps.who.int/gb/ebwha/pdf_files/WHA74/A74_ACONF2-en.pdf)

WHO の条約、協定またはその他の国際的な開発に関する世界保健総会特別セッション（2021 年 11 月開催予定）については以下のサイトをご覧ください。

[https://apps.who.int/gb/ebwha/pdf\\_files/WHA74/A74\\_ACONF7-en.pdf](https://apps.who.int/gb/ebwha/pdf_files/WHA74/A74_ACONF7-en.pdf)

### 2) 公衆衛生上の緊急事態におけるメンタルヘルス

「包括的メンタルヘルス行動計画 2013-2030」を承認しました。

総会に引き続き、6 月 2 日には執行理事会が開催されます。

---

2021 年 6 月 2 日

## **Voice, agency, empowerment**

Social participation is an important means for governments to develop responsive health policies and programmes, which are more likely to be implemented by a broad stakeholder group. It is at the heart of the inclusive governance needed for countries to stake their individual paths towards Universal Health Coverage while ensuring that no one is left behind.

As simple as it may seem in theory, it is a complex undertaking in practice, one which policy-makers struggle with. The Handbook on Social Participation for UHC is thus designed to provide practical guidance, anchored in conceptual clarifications, on strengthening meaningful government engagement with the population, communities, and civil society for national health policy-making. It draws on best practices and lessons learned to support government institutions in setting up, fine-tuning, improving, and institutionalizing new or existing participatory health governance mechanisms.

## **UHC 社会参加ハンドブック**

社会参加は、政府が迅速な保健政策やプログラムを策定するための重要な手段であり、関心を持つ幅広い人々やグループが最も参加することになります。社会参加は、各国が UHC(ユニバーサ

ル・ヘルス・カバレッジ)に向けてそれぞれの道を歩みつつ、誰も取り残されないようにするために必要で、包括的な統治責任の中核をなすものです。

このハンドブックでは、人々の声を保健政策の立案に取り入れる際に、政策立案者が考え、実行しなければならないさまざまな課題を紹介しています。例えば、参加を可能にする環境づくり、参加者の中からの代表性の確保、能力の強化、参加型プロセスの結果の政策への取り込みの増加、参加型の関与の長期的な維持などが挙げられます。

---

2021年6月2日

## [New US\\$50 billion health, trade and finance roadmap to end the pandemic and secure a global recovery](#)

- Heads of International Monetary Fund (IMT), World Bank Group (WB), World Health Organization (WHO) and World Trade Organization (WTO) issue extraordinary call for financing actions by government leaders to accelerate end to COVID-19 pandemic.
- IMF, WB, WHO and WTO principals call for US\$50 billion investment to generate US\$9 trillion in global economic returns by 2025 and boost manufacturing capacity, supply, trade flows and the equitable distribution of diagnostics, oxygen, treatments, medical supplies and vaccines.
- Call to action by this quadrilateral grouping comes at a perilous point in the pandemic and as the historic World Health Assembly concludes, G7 meetings commence, and follows the G20 Global Health Summit.
- Doses need to be donated immediately to developing countries, synchronized with national vaccine deployment plans, including through COVAX, which is co-led by CEPI, Gavi and WHO, alongside key delivery partner UNICEF.

### **国際機関がコロナ終息へ 500 億ドル拠出を呼びかけ**

WHO、国際通貨基金 (IMF)、世界銀行 (WB)、世界貿易機関 (WTO) は、新型コロナウイルス感染症の終息と 2025 年までに 9 兆ドルの経済的リターン創出に向けて、新規に 500 億ドルの拠出を各国に求める共同声明を出しました。

---

2021年6月2日

## [WHO validates Sinovac COVID-19 vaccine for emergency use and issues interim policy recommendations](#)

WHO today validated the Sinovac-CoronaVac COVID-19 vaccine for emergency use, giving countries, funders, procuring agencies and communities the assurance that it meets international standards for safety, efficacy and manufacturing. The vaccine is produced by the Beijing-based pharmaceutical company Sinovac.

### **中国シノバック製のワクチンを緊急使用リストに追加**

WHO は、シノバックのワクチンの安全性、有効性が国際基準を満たしているとして、緊急使用リストへの追加を承認しました。中国製ワクチンのリスト追加は先月のシノファームに続いて 2 例目となります。

---

2021 年 6 月 4 日

## [Online Course: Climate Change Negotiations and Health](#)

Climate change is resulting in poorer health outcomes, increasing mortality and is a driver of health inequities. However, health is well placed to be a significant part of the solution, For example, the positive health impacts from stronger climate change action can motivate stronger global ambition; health systems which are resilient to climate change can help protect their populations from the negative impacts; and a green and health recovery from COVID-19 can make a substantial contribution to reducing greenhouse gas emissions while strengthening our resilience to health shocks.

[The course](#) provides clear, concise, and up-to-date information for anybody interested in addressing the health risks arising from climate change. The course is self-paced and includes a series of self-standing interactive lessons with different activities, exercises, case studies and videos, as well as links to other useful resources. Upon successful completion of the course, participants can receive a certificate of completion.

## **気候変動と健康に関するオンライン学習コース**

気候変動は、健康状態を悪化させ、死亡率を増加させ、健康格差の要因となっています。

この無料のオンラインコースは、気候変動による健康リスクの対応に関心を持つ人々には、気候変動に関する国際交渉の全体像と健康に及ぼす影響について入門プログラムとして適していると考えられます。このコースは自分のペースで進めることができ、さまざまな活動、練習問題、ケーススタディ、ビデオ、そして他の有用な情報源へのリンクを含む、自立型で双方向的なレッスンが用意されています。このコースを修了すると、修了証が発行されます。

---

2021 年 6 月 7 日

## [WHO and European Union's funded Health and Care Cluster collaborating on Digital and Assistive Technologies for Ageing webinar series](#)

WHO launched the Digital and Assistive Technologies for Ageing (DATA) to encourage the development, synthesis, and use of solutions that promote access to affordable, quality, digital and assistive technologies for people with impairment or decline in physical or mental capacity, with a particular focus on older people. Within WHO, DATA brings together perspectives from a number of different departments; including Ageing and Life Course, Digital Health and Innovation, Health Systems and Service Provision, and Health Products, and Policy and Standards.

## **高齢化に向けたデジタル支援技術 DATA 立上げ**

WHO は、高齢者を中心とした身体的・精神的能力に障がいや衰えのある人々のために、安価で質の高いデジタル技術や支援技術の開発、統合、およびそれらの普及を進めるために、「Digital and Assistive Technologies for Ageing (DATA) 」を立ち上げました。

DATA は、Ageing and Life Course (高齢化とライフコース) 、 Digital Health and Innovation (デジタルを利用した健康と革新) 、 Health Systems and Service Provision (医療システムとサービスの提供) 、 Health Products, and Policy and Standards (医療製品と政策と基準) など、さまざまな部門の視点を結集しています。

---

2021 年 6 月 7 日

## **[WHO joins the UN Decade on Ecosystem Restoration on World Environment Day](#)**

On the occasion of World Environment Day 2021, WHO has joined the UN Decade on Ecosystem Restoration, a partnership aimed at preventing, halting and reversing the degradation of our ecosystems and the diversity of life they sustain.

WHO has joined the partnership as a collaborating agency, along with the United Nations Environment Programme (UNEP), the Food and Agriculture Organization of the United Nations (FAO) and a large number of partners.

## **WHO : 「国連生態系回復の 10 年」に加盟**

2021 年の世界環境デーを機に、WHO は国連の「生態系回復の 10 年」に加盟しました。これは、私たちの生態系とそれを支える生命の多様性の劣化を防ぎ、阻止し、逆転させることを目的としたパートナーシップです。

WHO は、国連環境計画 (UNEP) 、国連食糧農業機関 (FAO) や多くのパートナーとともに、協力機関としてこのパートナーシップに参加しています。

生態系の回復は、感染症の抑制、食料・栄養の安全保障の支援、気候変動の緩和・適応に寄与し、健康と幸福感に大きく貢献します。また、生態系の回復は、災害の危険性を軽減するとともに、生活と健全な社会を支えます。

国連の「生態系回復の 10 年」は、「ワン・ヘルス」と呼ばれる、人間、動物、植物、生態系の境界線における分野横断的な協力と関与を強化することを目的とした、WHO が主導する一連の共同作業の一環です。

[「国連生態系回復の 10 年」](#)

---

2021 年 6 月 7 日

## **[Revised scope and direction for the Smart Vaccination Certificate and WHO's role in the Global Health Trust Framework](#)**



Given this recommendation from the IHR Emergency Committee meeting, the Smart Vaccination Certificate Secretariat has expanded the scope of the initiative to develop guidance that includes SARS-CoV-2 testing and COVID-19 recovery status. Accordingly, the Smart Vaccination Certificate specification will be renamed as the “Digital Documentation of COVID-19 Certificates (DDCC)” specification. The resulting guidance will be published in a series of three separate documents, which will guide Member States on how to digitally document COVID-19 vaccination status, SARS-CoV-2 test results, and COVID-19 recovery status. These guidance documents will include critical components such as the minimum datasets, expected functionality of digital systems, and preferred terminology code systems.

## **予防接種証明書の仕組み作りへ**

2021年4月15日に開催されたCOVID-19パンデミックに関する国際保健規則（IHR）緊急委員会の助言を受けて、スマート予防接種証明書事務局は、この取り組みの範囲を拡大し、SARS-CoV-2（COVID-19ウイルス）検査とCOVID-19からの回復状況を含めたガイダンスを作成することにしました。

これに伴い、スマート予防接種証明書の仕様は、“Digital Documentation of COVID-19 Certificates (DDCC)”と名称を変更します。

作成されたガイダンスは、COVID-19 ワクチン接種状況、検査結果、回復状況をデジタルで文書化する方法について加盟国の参考となる3つの文書シリーズとして発行されます。これらには、必要な最小限のデータセット、デジタルシステムに求められる機能、用語集コードシステムなどの基本的要素が含まれています。

---

2021年6月8日

## **[Health economic assessment tool \(HEAT\) for walking and for cycling](#)**

This methodology and user guide will be of key interest to professionals at both national and local levels: transport planners, traffic engineers, and special interest groups working on transport, walking, cycling or the environment, as well as health economists, physical activity experts and health promotion experts.

## **ウォーキングとサイクリングのための健康経済評価ツール (HEAT)**

運動不足は、世界中で公衆衛生上の大きな問題となっています。自転車や歩行の促進は、より多くの身体活動を得るためのよい方法です。また、自転車や歩行の促進は、健康を促進するだけでなく、環境にも良いことです。特に、自動車による短時間の移動を自転車や徒歩に置き換えることができれば、Win - Winのアプローチとなります。

このツールは、経済、健康、大気汚染に関する文献について系統的な評価の結果を簡潔にまとめています。第1章では、交通インフラや政策の経済評価の方法について、大気汚染や傷害、炭素排出の影響を考慮した上で、徒歩や自転車の健康効果を含めることの結論を示しています。

---

2021年6月8日

## [WHO Quality assurance policy for the procurement of essential medicines and other health products](#)

The procurement of essential medicines and other health products is a critical function in support of the effective discharge of WHO's mandate, and WHO values the importance of the quality of essential medicines and health products that are supplied to countries. The first World Health Assembly in 1948 recognized the need to establish a procurement service at WHO, and recommended setting up an office "to give advice on the procurement of essential drugs, biological products and other medical supplies".

This WHO Quality Assurance Policy for the Procurement of Essential Medicines and other Health Products (the Policy) sets out the principles and requirements regulating WHO procurement of essential medicines and health products, including a set of clear and transparent criteria on which potential sources and suppliers are selected and engaged.

### **必須医薬品などの調達に関する品質保証方針**

WHO は各国に供給する必須医薬品などの製品の品質に重点を置いています。「必須医薬品およびその他の健康製品の調達のための WHO 品質保証方針」は WHO による調達の原則と要件を定めたものであり、調達先候補や供給者を選定し、サービスを受けるための明確かつ透明性のある基準です。

---

2021年6月8日

## [Global Launch: Tracking SDG7: The Energy Progress Report](#)

According to the new Energy Progress Report, close to 3 billion people have no access to clean cooking solutions, mainly in Asia and Sub-Saharan Africa. Without urgent attention to this issue, only 72% of the global population will have access to clean cooking fuels and technologies by 2030. Exposure to household air pollution will continue to contribute to millions of deaths from noncommunicable diseases, pneumonia and covid19.

The Energy Progress Report aims to provide the international community with a global dashboard to register progress on energy access, energy efficiency, renewable energy and international cooperation to advance SDG 7. It assesses the progress made by each country on these four pillars and provides a snapshot of how far we are from achieving the 2030 Sustainable Development Goals (SDG) targets. WHO is one of the custodian agencies of the report and is responsible to report on the proportion of population with primary reliance on clean fuels and technology.

### **SDG7 エネルギー進捗報告書**

この報告書は、SDG7 を推進するために、エネルギーの利用、エネルギー効率、再生可能エネルギー、国際協力の進捗状況を登録する世界共通の登録システムを提供することを目的としてい

ます。この報告書では、各国がこれらの 4 つの柱についてどのような進捗状況にあるかを評価し、2030 年までの持続可能な開発目標 (SDGs) の目標達成に向けた現時点での状況を記載しています。

今回の報告書では、クリーンな炊事ができない 30 億人近くのアフリカ諸国のエネルギーの利用手段の改善に注力する必要があるとしています。

(備考) SDG7 : エネルギーをみんなに、そしてクリーンに (Ensure access to affordable, reliable, sustainable and modern energy for all)

---

2021 年 6 月 8 日

## [WHO steps up action to improve food safety and protect people from disease](#)

Every year 600 million cases of foodborne illnesses are reported. In 2010, 420 000 people died due to such diseases as salmonella and E.coli infection, a third of them children under five years of age. It is estimated that this figure is increasing year after year, but it is difficult to get a clear picture of the real impact foodborne diseases are having around the world.

To address this problem the World Health Organization has developed a handbook to help countries measure their foodborne disease burden and identify food safety system needs and data gaps so they can strengthen national infrastructure and better protect people's health.

### **食中毒などを評価するためのハンドブック**

毎年、6 億件の食中毒が報告されています。2010 年には、サルモネラ菌や大腸菌などの感染症で 42 万人が死亡し、そのうち 3 分の 1 は 5 歳以下の子どもたちでした。この数字は年々増加していると言われてはいますが、食中毒の世界的実態を正確把握することは困難です。

この問題に対処するため、WHO は、各国が食品由来の疾病の負荷を測定し、食品安全システムの必要性とデータの乖離を明確にして、インフラを強化し、人々の健康を守るためのハンドブックを開発しました。

---

2021 年 6 月 9 日

## [New Policy Action Paper highlights feasible policy interventions for addressing the under representation of women in global health and care leadership](#)

Women comprise almost 70% of the global health and care workforce but hold only 25% of senior leadership positions. A new WHO Policy Action Paper Closing the leadership gap: gender equity and leadership in the global health and care workforce launched on 8th June 2021 by the WHO's Global Health Workforce Network's Gender Equity Hub, which is co-chaired by WHO and Women in Global Health. The Policy Action Paper explores the current status of women in leadership in the health and care sector, which employs millions of women worldwide, and the negative impact

for women and health systems of their underrepresentation in leadership. The Policy Action Paper contributes insights into women's leadership in health and care and policy interventions to ensure more gender equitable and representative leadership.

## ヘルスケア分野における女性のリーダーシップと政策的アクション

女性は世界の医療・介護従事者の約70%を占めていますが、指導的立場には25%しか就いていません。

今回発表された政策アクションペーパーでは、ヘルスケア分野における女性のリーダーシップについての考察と、より男女平等で代表性のあるリーダーシップを確保する具体的な政策行動について述べています。

[Policy action paper, June 2021](#)

---

2021年6月9日

## [Council on the Economics of Health For All issues brief on equitable health innovation](#)

The WHO Council on the Economics of Health for All, which comprises leading economists and health experts from across the globe, today called on governments, the scientific and medical community and private sector leaders to re-design the health innovation ecosystem toward delivering health technologies for the common good.

In the Council's first brief, its members called on the public and private sectors to work collaboratively to deliver needed vaccines, therapeutics, diagnostics, and other essential health supplies that are available equitably to those who can benefit.

## 「すべてのひとの健康の経済活動評議会」：公共財に向けたシステムの再設計を

世界各国の経済学者や保健分野の専門家で構成される「すべての人のための健康の経済活動に関するWHO評議会」は、政府、科学・医学界、民間企業の指導者に対し、健康技術を人類の公共財として提供することを目指し、健康イノベーションのエコシステムを再設計するよう呼びかけました。

評議会は最初の報告書で、必要なワクチン、治療薬、診断薬、その他の必須保健用品を、恩恵を受ける人々に公平に提供するために、官民が協力して取り組むことを呼びかけました。

---

2021年6月9日

## [Global Antimicrobial Resistance and Use Surveillance System \(GLASS\) Report: 2021](#)

Since its launch, GLASS has expanded in scope and coverage and as of May 2021, 109 countries

and territories worldwide have enrolled in GLASS. A key new component in GLASS is the inclusion of antimicrobial consumption (AMC) surveillance at the national level highlighted in this fourth GLASS report.

The fourth GLASS report summarizes the 2019 data reported to WHO in 2020. It includes data on AMC surveillance from 15 countries and AMR data on 3 106 602 laboratory-confirmed infections reported by 24 803 surveillance sites in 70 countries, compared to the 507 923 infections and 729 surveillance sites reporting to the first data call in 2017.

The report also describes developments over the past years of GLASS and other AMR surveillance programmes led by WHO, including resistance to anti-human immunodeficiency virus and anti-tuberculosis medicines, antimalarial drug efficacy.

## **世界の薬剤耐性・使用状況調査システム (GLASS) レポート : 2021**

2021年5月現在、世界109の国と地域がGLASSに登録しています。

今回の第4次GLASSレポートでは、各国別の抗菌薬消費量 (AMC) サーベイランスが含まれています。2017年の最初のデータコールに報告された507 923件の感染と729件のサーベイランスサイトと比較して、15カ国のAMCサーベイランスのデータと、70カ国の24 803件のサーベイランスサイトから報告された3 106 602件の実験室で確認された感染のAMR (抗菌薬耐性) データが記載されています。

(備考) GLASS : グローバル薬剤耐性サーベイランスシステム Global Antimicrobial Resistance and Use Surveillance System

---

2021年6月10日

### **[Countries reaffirm commitment to ending polio at launch of new eradication strategy](#)**

Today, the Global Polio Eradication Initiative (GPEI) will launch the Polio Eradication Strategy 2022-2026: Delivering on a Promise at a virtual event, to overcome the remaining challenges to ending polio, including setbacks caused by COVID-19. While polio cases have fallen 99.9% since 1988, polio remains a Public Health Emergency of International Concern (PHEIC) and persistent barriers to reaching every child with polio vaccines and the pandemic have contributed to an increase in polio cases. Last year, 1226 cases of all forms of polio were recorded compared to 138 in 2018.

In 2020, the GPEI paused polio door-to-door campaigns for four months to protect communities from the spread of COVID-19 and contributed up to 30,000 programme staff and over \$100 million in polio resources to support pandemic response in almost 50 countries.

### **ポリオ根絶戦略 2022 - 2026 開始**

世界ポリオ根絶イニシアティブ (GPEI) は、「ポリオ根絶戦略 2022 - 2026 : 約束を果たすために」を発表します。

1988年以降、ポリオ感染者数は99.9%減少しましたが、ポリオは依然として「国際的に懸念

される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」です。すべての子どもたちにポリオワクチンを届けるための根強い障壁や、パンデミックの影響で、ポリオ感染者数は増加しています。2018年は138件の患者発生でしたが、昨年は1226件となりました。

野生型ポリオの伝染をまだ阻止していないパキスタンとアフガニスタン両国の指導者は、ワクチンで予防可能なこの病気を根絶するために、新たな世界的な連帯と継続的な資源を求めました。両国首脳は、GPEIとのパートナーシップを強化し、ワクチン接種作戦とポリオのリスクが高い地域社会とのあり方を改善すると約束しました。

---

2021年6月10日

## [New WHO guidance seeks to put an end to human rights violations in mental health care](#)

Mental health care recommended in the new guidance should be located in the community and should not only encompass mental health care but also support for day-to-day living, such as facilitating access to accommodation and links with education and employment services. WHO's new "Guidance on community mental health services: promoting person-centred and rights-based approaches" further affirms that mental health care must be grounded in a human rights-based approach, as recommended by the WHO Comprehensive Mental Health Action Plan 2020-2030 endorsed by the World Health Assembly in May 2021.

### **精神医療の新ガイドライン**

WHOの新しい「地域社会におけるメンタルヘルスサービスに関するガイダンス：人間の権利に基づくアプローチの推進」は、2021年5月の世界保健総会で承認されたWHOの「包括的メンタルヘルス行動計画2020 - 2030」に基づくものです。

精神医療の大部分は精神病院で行われており、人権侵害や強制的な治療が行われているのが現状です。

新ガイドラインでは推奨する精神医療は、地域社会に根ざしたものであり、精神医療だけでなく、宿泊施設の利用や教育・雇用サービスとの連携など、日常生活における支援も含まれるべきだ、としています。

---

2021年6月14日

## [Statement for healthcare professionals: How COVID-19 vaccines are regulated for safety and effectiveness](#)

This joint International Coalition of Medicines Regulatory Authorities (ICMRA)\* and WHO statement aims to help healthcare professionals answer questions about the role of regulators in the oversight of COVID-19 vaccines. It explains how vaccines undergo robust scientific evaluation to determine their safety, efficacy and quality and how safety is closely and continually monitored after approval.

## **医療従事者向け声明：COVID-19 ワクチンの安全性・有効性評価と監視について**

薬事規制当局国際連携組織（ICMRA）と WHO は共同声明を発表し、ワクチンの安全性、有効性、品質を決定する科学的評価と、承認後の安全性の監視について説明しています。

---

2021年6月14日

### **[The ACT Accelerator partnership welcomes commitment of 870 million vaccine doses and calls for more investment in all tools to end the pandemic](#)**

- G7 leaders donate 870 million vaccine doses for low and low-middle income countries over the next year, vital for reducing virus transmission.
- G7 leaders emphasize the importance of all ACT-Accelerator tools to exit the pandemic.
- ACT-Accelerator's funding gap remains significant with an urgent need for funding of tests, treatments and health systems to ensure an end to the pandemic everywhere.
- WHO Director General warns of increasing divide in equity to crucial COVID-19 tools.
- Total funding committed to the ACT-Accelerator partnership remains US\$ 15.1 billion with a gap of over US\$16 billion.

### **ACT アクセラレータが G7 のワクチン提供を歓迎**

ACT アクセラレータは、G7 の 8 億 7000 万回分のワクチン提供を歓迎しました。一方で ACT アクセラレータの資金不足は依然として大きく、パンデミックの終息を確実にするためには、検査、治療、医療システムへの資金投入が緊急に必要となっています。WHO 事務局長は、重要な COVID-19 に対する手段、資源などについて公平性の格差が拡大しているとしています。ACT-アクセラレータに約束された資金総額は 151 億ドルであり、160 億ドル以上のギャップがあります。各国首脳は、治療、検査、公衆衛生システムの強化、ワクチンなど、ACT アクセラレータのすべての柱を支持することを確認しました

---

2021年6月14日

### **[New HIV/AIDS political declaration seeks to end inequalities and get on track to end AIDS by 2030](#)**

Member States at the High-Level Meeting on HIV and AIDS adopted a Political Declaration in order to get the world on track to end AIDS as a public health threat by 2030.

### **HIV / エイズ政治宣言採択**

HIV / エイズに関するハイレベル会合に出席した加盟国は、2030 年までのエイズを終息に向け、世界を軌道に乗せるための政治宣言を採択しました。

今後 5 年間の緊急行動を再約束し、加盟国は 2025 年までに、年間の新規 HIV 感染者数を 37 万人以下、年間のエイズ関連死亡者数を 25 万人以下に減少させ、小児エイズを撲滅し、HIV に関連するあらゆる形の偏見、差別をなくすこと等に合意しました。

---

2021 年 6 月 14 日

## [26 International experts to kickstart the One Health High Level Expert Panel \(OHHLEP\)](#)

Recognizing the complex and multidisciplinary issues raised by the interface of human, animal and ecosystem health (“One Health”) that require enhanced coordination and collaboration among sectors and agencies, nationally and internationally, the Food and Agriculture Organization (FAO), the World Organisation for Animal Health (OIE), the United Nations Environment Programme (UNEP) and the World Health Organization (WHO) (the “Partners”) launched on 29 March 2021 a joint call for expression of interest to constitute a One Health High Level Expert Panel (OHHLEP).

### **One Health の専門家パネル始動**

食糧農業機関 (FAO)、世界動物保健機関 (OIE)、国連環境計画 (UNEP)、WHO は、2021 年 3 月 29 日、ワン・ヘルスに関する (注) 専門家パネル (OHHLEP) について共同募集を開始していました。700 人以上の応募者の中から、2021 年 5 月に 26 名の国際的な専門家がパネルのメンバーとして任命されました。

パネルは学際的で、ワン・ヘルスに関連する様々な技術的知識、スキル、経験を持つ専門家で構成されています。

(注) One health とは人、動物、生態系の健康 (ワン・ヘルス) の接点から生じる複雑で学際的な問題を認識し、国内外の部門や機関の間での調整や協力を強化する概念。

---

2021 年 6 月 15 日

## [WHO benchmarks for the training of acupuncture](#)

In 1999, WHO published the Guidelines on basic training and safety in acupuncture. However, various backgrounds of acupuncture service providers were addressed inadequately in this document, and there is a lack of a defined career pathway for acupuncture providers. This updated benchmark document aims to reduce the gaps by setting up required learning modules for each category of acupuncture service providers at different levels, so that individual practices and practitioners can be compared, evaluated and accredited.

### **鍼灸治療の最新トレーニング基準**

1999 年に WHO は「鍼灸の基本的なトレーニングと安全性に関するガイドライン」を発表しました。しかし、このガイドラインでは、鍼灸治療者の多様な背景の考慮が不十分であり、鍼灸師



の養成課程なども定義されていませんでした。この最新の文書は、鍼灸師のカテゴリーごとに、個々の診療所や施術者を比較、評価、認定することを目的としています。

---

2021年6月15日

## [WHO benchmarks for the training of tuina](#)

In 2010, WHO published the Benchmarks for training in tuina. However, various backgrounds of tuina service providers were addressed inadequately in this document, and there is a lack of a defined career pathway for tuina providers. This updated benchmark document aims to reduce the gaps by setting up required learning modules for each category of tuina service providers at different levels, so that individual practices and practitioners can be compared, evaluated and accredited.

### **推拿（中国手技治療技術）のトレーニング基準**

2010年にWHOは推拿（すいな）（中国手技療法）（注）の基準を発表しました。しかし、この文書では、推拿サービス提供者のさまざまな背景への対応が不十分であり、推拿施術者の養成課程も定義されていませんでした。この最新の文書は、推拿術者のカテゴリーごとに必要な学習課程を設定することで、術者のレベルの違いを減らすことを目的としており、個々の施術と施術師を比較、評価、認定することができます。

（注）推拿（すいな）学科は漢方薬や鍼灸と同様に中国伝統医学として確立され、鍼や薬物を用いず、人間の手だけを使い、心身を癒し、疾病を予防・治療する手技療法です。

---

2021年6月15日

## [Young people and COVID-19: Behavioural considerations for promoting safe behaviours](#)

In the context of the coronavirus disease (COVID-19) pandemic response, WHO identifies young people as a priority target audience with specific concerns, experiences and behaviours. This policy brief provides relevant insights from behavioural evidence and a set of behavioural considerations for those promoting COVID-19 preventive behaviours among young people. Designers of programmes and initiatives targeting youth may find it helpful to refer to the youth-specific barriers and drivers identified in this policy brief and to prioritize these for testing when planning initiatives targeted at young people.

### **若者と COVID-19 : 安全な行動の促進**

このポリシーブリーフ（特定の政策に関するノート）では、若者の COVID-19 に対する予防的行動を促進するために、行動学に基づく洞察と、考慮すべき点をまとめています。

若者を対象としたプログラムや取り組みの設計者は、取り組みを計画する際に、このポリシーブリーフで特定された若者特有の困難や促進要因を参照し、テストのためにこれらに優先順位を

つけることが有用です。

---

2021年6月17日

## [Soaring e-waste affects the health of millions of children, WHO warns](#)

First WHO report on e-waste and child health calls for more effective and binding action to protect children from growing health threat

Effective and binding action is urgently required to protect the millions of children, adolescents and expectant mothers worldwide whose health is jeopardized by the informal processing of discarded electrical or electronic devices according to a new ground-breaking report from the World Health Organization: [Children and Digital Dumpsites](#).

### **電子機器廃棄物 (e-waste) と健康への脅威 (報告書)**

WHOの報告書「Children and Digital Dumpsites」によると、廃棄された電気・電子機器の不法な処理・処分によって世界中の何百万人もの子どもたち、青少年、妊産婦が健康を害しています。人々を脅威から守るために、効果的で強制力のある行動が緊急に求められています。

1,290万人もの女性が非公認の廃棄物処理部門で働いており、有害な電子機器に触れる可能性があり、彼女たちや生まれてくる子どもたちが危険にさらされています。

他方、1,800万人以上の子どもと青少年（中には5歳の子どももいる）が、廃棄物処理を含む非公認の産業部門に従事しています。

電子廃棄物は2019年までの5年間で21%増加しており、今すぐに行動を起こさなければ、その影響は子どもたちに深刻で広範な健康被害をもたらし、今後数年間のうちに保健分野に大きな負担を強いることになると警告しています。

[報告書](#)

---

2021年6月17日

## [Caesarean section rates continue to rise, amid growing inequalities in access: WHO](#)

According to new research from the World Health Organization (WHO), caesarean section use continues to rise globally, now accounting for more than 1 in 5 (21%) of all childbirths. This number is set to continue increasing over the coming decade, with nearly a third (29%) of all births likely to take place by caesarean section by 2030, the research finds.

While a caesarean section can be an essential and lifesaving surgery, it can put women and babies at unnecessary risk of short- and long-term health problems if performed when there is not medical need.

### **帝王切開による出産増加に懸念**

世界的に帝王切開による出産が増え続けており、現在では全出産の 5 人に 1 人以上 (21 %) を占めています。この数字は今後 10 年間でさらに増加し、2030 年には全出産の約 3 分の 1 (29 %) が帝王切開で行われると見込まれています。

帝王切開手術を受けられるかどうかは、世界の地域によって大きな違いがあります。後発開発途上国では、帝王切開で出産した女性は約 8 %、サハラ以南のアフリカではわずか 5 %であり、救命手術としての帝王切開の普及が著しく遅れています。

他方、ラテンアメリカとカリブ海諸国では、全出産の 10 人に 4 人 (43 %) という高い割合になっています。5 カ国 (ドミニカ共和国、ブラジル、キプロス、エジプト、トルコ) では、帝王切開が経膈分娩を上回っています

帝王切開のすべてが、医学的な理由で必要とされているわけではありません。不必要な外科手術は、女性にとっても赤ちゃんにとっても有害です。

## [研究報告](#)

---

2021 年 6 月 21 日

### [One in 100 deaths is by suicide](#)

WHO guidance to help the world reach the target of reducing suicide rate by 1/3 by 2030

Suicide remains one of the leading causes of death worldwide, according to WHO's latest estimates, published today in "Suicide worldwide in 2019". Every year, more people die as a result of suicide than HIV, malaria or breast cancer – or war and homicide. In 2019, more than 700 000 people died by suicide: one in every 100 deaths, prompting WHO to produce new guidance to help countries improve suicide prevention and care.

### **100 人の死亡のうち一人は自死**

本日発表された「2019 年の世界の自殺」に掲載された WHO の最新の推計によると、自死は依然として世界の主要な死因の一つです。毎年、HIV、マラリア、乳がん — 戦争や殺人によるよりも、自死が原因で亡くなる人が多いのです (2019 年に 70 万人以上)。

WHO は、自死予防のための「LIVE LIFE アプローチ (人生を生きる道)」を実施するための包括的なガイダンスを発表しました。このアプローチには 4 つの戦略があります。

1. 危険性の高い殺虫剤や銃器など、自死の手段を制限する。
2. 自死に関する報道には責任を伴うことについて、メディアを教育する。
3. 思春期の子どもたちが社会的・情緒的にも人生を送ることができるよう育成。
4. 自死願望や行動を起こした人の早期発見、評価、管理、フォローアップ。

[「2019 年の世界の自殺」](#)

[「LIVE LIFE : 各国の自殺予防のためのガイド」](#)

---

2021 年 6 月 21 日

## [WHO releases new global lists of high-burden countries for TB, HIV-associated TB and drug-resistant TB](#)

The World Health Organization (WHO) today released updated global lists of high burden countries for tuberculosis (TB), HIV-associated TB and multidrug/rifampicin-resistant TB (MDR/RR-TB). The new lists are for 2021–2025 and replace those previously used between 2016 and 2020.

The lists provide a focus for global action on TB, HIV-associated TB and drug-resistant TB in the countries where progress is most needed to achieve the targets set in WHO's End TB Strategy, the political declaration of the United Nations (UN) high-level meeting on TB held in 2018 and the UN Sustainable Development Goals (SDGs).

### **結核、HIV 結核など高負担国リストを更新**

WHO は、結核 (TB) 、 HIV 結核、多剤・リファンピシン耐性結核 (MDR / RR - TB) の高負担国のリストを更新しました。新しいリストは 2021 年から 2025 年までのもので、これまで 2016 年から 2020 年の間に使用されていたものに代わるものです。

このリストは、WHO の「結核撲滅戦略」と 2018 年に開催された結核に関する国連ハイレベル会合の政治宣言並びに国連の「持続可能な開発目標 (SDGs) 」で設定された目標を達成するために、最も進展が必要な国における行動のポイントについて述べています。

#### [グローバルリスト](#)

---

2021 年 6 月 22 日

## [WHO supporting South African consortium to establish first COVID mRNA vaccine technology transfer hub](#)

The World Health Organization (WHO) and its COVAX partners are working with a South African consortium comprising Biovac, Afrigen Biologics and Vaccines, a network of universities and the Africa Centres for Disease Control and Prevention (CDC) to establish its first COVID mRNA vaccine technology transfer hub.

The move follows WHO's global call for Expression of Interest (EOI) on 16 April 2021 to establish COVID mRNA vaccine technology transfer hubs to scale up production and access to COVID vaccines. Over the coming weeks, the partners will negotiate details with the Government of South Africa and public and private partners inside the country and from around the world.

### **南アフリカにワクチン技術移転ハブ設立へ**

WHO と COVAX パートナーは、南アフリカの共同事業体と協力して、初の COVID mRNA ワクチン技術移転の拠点を設立します。

先進国と途上国の間のワクチンギャップが世界の健康安全保障を著しく損なうことが明らかになりました。この画期的な取り組みは、アフリカのワクチンの開発・製造能力を構築する国際的な取り組みを大きく前進させるものです。

今回の発表は、フランスのマクロン大統領が南アフリカを訪問した際に、COVID-19 ワクチンやその他の医療製品の現地生産能力拡大の取り組みを支援することを表明したことを受けたものです。

---

2021年6月22日

## [WHO launches mobile application for Yoga](#)

Today, WHO in collaboration with the Government of India, is launching WHO mYoga - a yoga app to help people stay active and healthy. The app is safe and secure, and does not collect any data from users. It is available for free download on Android devices, and Apple devices.

### **ヨガアプリ「WHO mYoga」発表**

WHO はインド政府と共同で、人々がアクティブで健康的な生活を送るためのヨガアプリ「WHO mYoga」を発表しました。

このアプリには、ヨガの指導や練習に役立つビデオやオーディオファイルが収録されており、初めてヨガに挑戦する人にも、すでに定期的にヨガを行っている人にも、使いやすい無料のツールです。

このアプリは、WHO と国際電気通信連合 (ITU) が共同で設立した BeHe @ lthy BeMobile によって開発されました。WHO mYoga は、伝統医療・補完医療の質、安全性、効果を向上させることを目的とした世界「伝統医療戦略 2014 - 2023」を受けて作成されたものです。

---

2021年6月23日

## [UNESCO and WHO urge countries to make every school a health-promoting school](#)

UNESCO and the World Health Organization today launched the Global Standards for Health-promoting Schools, a resource package for schools to improve the health and well-being of 1.9 billion school-aged children and adolescents. The closure of many schools around the world during the COVID-19 pandemic has caused severe disruptions to education. An estimated 365 million primary school students went without school meals and significantly increased rates of stress, anxiety and other mental health issues.

### **ユネスコと WHO : すべての学校を健康促進の場に**

ユネスコと WHO は、19 億人の学齢期の子どもと青少年の健康と福祉を向上させるための国際基準をパッケージとして発表しました。

COVID-19 パンデミックの際、世界中の多くの学校が閉鎖されたことで、教育に深刻な混乱が生じました。3 億 6500 万人の小学生が学校給食を受けられず、ストレスや不安などの精神的な問題を抱える割合が著しく増加しました。

このリソースパッケージは 8 つの国際基準に基づいており、学校がすべての生徒に対して、ラ

イフスキル、認知・社会情緒スキル、健康的なライフスタイルを促進することを目的としています。

この取り組みは、2023年までに「10億人の生活をより健康に」というWHOの第13次一般作業計画の目標と、ユネスコが調整する世界の「教育2030アジェンダ」の達成に向けて前進させるものとなります。

### [ヘルスプロモーション・スクールの実施ガイダンス](#)

---

2021年6月29日

## [Directors General of WHO, WIPO and the WTO agree on intensified cooperation in support of access to medical technologies worldwide to tackle the COVID-19 pandemic](#)

On June 15, 2021, we, the Directors General of WHO, WIPO and the WTO, met in a spirit of cooperation and solidarity to map out further collaboration to tackle the COVID-19 pandemic and the pressing global challenges at the intersection of public health, intellectual property and trade. Acutely conscious of our shared responsibility to communities across the world as they confront a health crisis of unprecedented severity and scale, we pledged to bring the full extent of the expertise and resources of our respective institutions to bear in ending the COVID-19 pandemic and improving the health and well-being of all people, everywhere around the globe.

## **WHO：パンデミックの対応力の強化でWIPO, WTOと三者協力**

WHO、世界知的所有権機関（WIPO）、世界貿易機関（WTO）の各事務局長は、COVID-19パンデミックや公衆衛生、知的財産、貿易が交錯する差し迫った世界的課題に取り組むため、協力強化に合意しました。

3つの機関が協力して、実践的な能力開発ワークショップを開催します。パンデミックの最新情報や医療技術の公平な普及を実現する対応策に関して、最新の情報の流れを強化します。その目的は、加盟国政府の政策立案者や専門家の能力を強化し、パンデミックに対応できるようにすることです。シリーズの最初のワークショップは、9月に開催予定の「技術移転とライセンスに関するワークショップ」です。

---

2021年6月29日

## [At Local Production Forum, WHO and partners highlight key steps to improve access to health technologies](#)

The first WHO World Local Production Forum ended today after five days of discussions centered on promoting quality and sustainable local production to improve access to medicines and other health technologies.

- Delegates from over 100 countries, international partners, civil society groups, industry

associations, and major investors joined WHO, WTO, UNIDO, UNICEF and UNCTAD to highlight the challenges facing local production and the steps required to address them, as well as the range of opportunities for the sector.

Looking ahead, the Forum will provide a platform to drive forward efforts to support and enhance local production of health products in low- and middle-income countries.

## **第 1 回 WHO 医療製品の現地生産フォーラム**

25日に閉幕した第1回 WHO 世界現地生産フォーラムでは、WHO、WTO（世界貿易機関）、UNIDO（国連工業開発機関）、UNICEF（ユニセフ）、UNCTAD（国連貿易開発会議）に加え、100カ国以上の国々、国際パートナー、市民社会団体、業界団体、主要投資家からの代表者が参加しました。中・低所得国での医療関連製品の現地生産に向け、直面する技術移転などの課題とその解決に必要なステップ、そして現地生産の大きな可能性について議論が行われました。

---

2021年6月29日

### **[Putting people first in managing their health: new WHO guideline on self-care interventions](#)**

The World Health Organization (WHO) has today released new guidance which recognize how people can actively take decisions for their own health and the health of their loved ones. The new WHO Consolidated Guideline on Self-Care Interventions for Health provides evidence-based recommendations on specific self-care interventions that can help to ensure quality health and well-being, and to promote and protect human rights.

## **セルフケアに関する WHO ガイドライン**

WHOは、人々が自らの健康や大切な人の健康のために積極的に意思決定を行う方法を示す新しいガイドライン「WHO Consolidated Guideline on Self-Care Interventions for Health（健康のためのセルフケアの実施に関する WHO 統合ガイドライン）」を発表しました。

ガイドラインは、子宮頸がんのスクリーニングを向上させるためのヒトパピローマウイルス（HPV）の自己サンプリングから、意図しない妊娠を防ぐための避妊薬（注射薬）の自己投与まで、さまざまな実施方法を取り上げています。これらは利用者に配慮した、検索しやすいオンラインプラットフォームで利用できます。

---

2021年6月29日

### **[Demystifying digital health to improve family planning](#)**

“Family planning services are not always prioritized in digitalization – but when the process is clear and transparent it’s much easier to understand how health information or commodities connects to a broader spectrum of quality of care,” explained Mary Lyn Gaffield, Scientist in the

World Health Organization (WHO) Department of Sexual and Reproductive Health and Research, including the United Nations Special Programme HRP.

Enter the Digital Adaptation Kit (DAK) for Family Planning: a new tool for countries implementing WHO contraception and family planning recommendations in their digital systems.

## **家族計画のためのデジタル解説キット**

家族計画についてはこれまでデジタル化の優先順位は必ずしも高くありませんでした。

今回リリースされた家族計画のためのデジタル解説キット (DAK) は、避妊・家族計画に関するガイドラインの開発、普及と応用などをデジタルシステムで実施する加盟国のための、WHO によるツールです。

このツールは、WHO、HRP、国連人口基金 (UNFPA)、JSI、PATH (注) によって開発されました。各 DAK には、作業プロセス、データ辞書、意思決定ロジックなどの実用的なコンポーネントが含まれています。これらにより、WHO の勧告に含まれる健康情報と、デジタル導入に必要な協働プロセスの両方をより深く理解することができます。

---

2021 年 6 月 29 日

## **WHO guideline on school health services**

This first WHO guideline on school health services helps to fill that gap, with a strong recommendation for the implementation of comprehensive school health services.

This recommendation comes at a unique time in history, when COVID-19 has put so sharply in the spotlight the vital link between health and education.

## **学校における保健活動ガイドライン**

WHO、ユネスコ、およびその他の国連のパートナーは、教育部門の能力を強化し、健康と福祉の配慮を統合し、学校全体で健康を促進することを目的とした「すべての学校を健康促進の場に」(SHS) 運動を開始しました。今回発表されたガイドラインの中には、生徒の身体的、精神的、心理社会的、教育的な健康管理の必要性に応じて、学校外の施設と連携した健康活動普及の要件を定めた基準も含まれています。

このガイドラインは、保健員が関わる包括的な SHS の効果、受容性、内容について、各国政府やその他の関係者にガイダンスを提供することを目的としています。

(備考) 学校保健サービス (SHS) とは、初等・中等教育に在籍する生徒に対し、学校内または学校外の保健施設で、保健員が行う活動のこと。

---

2021 年 6 月 29 日

## **WHO country presence in small island developing states (SIDS)**

SIDS face unique social, economic and environmental challenges. Due to their remote



geography, many SIDS face high import and export trade costs as well as irregular international traffic volumes, while relying on external markets for many goods. Most of their natural resources come from the ocean. SIDS are particularly vulnerable to climate change, land degradation and biodiversity loss owing to their vulnerability to exogenous shocks and fragile land and marine ecosystems. Their remoteness and small population sizes mean high transportation costs and limited opportunity to develop economies of scale in international markets.

This document provides a quick overview of health sector information and WHO's presence in SIDS for 2019–20. The information in this document is presented in the specific context of the Thirteenth General Programme of Work of the WHO ([GPW13](#)), with a special section on COVID-19.

## **小島嶼開発途上国に対する WHO の役割 (報告書)**

小島嶼開発途上国 (SIDS) は、38 の国連加盟国と 20 の非加盟国 / 地域委員会の準加盟国からなる一群の諸国家です。これらの国々は資源を海洋から得るとともに、国外からの輸入に頼っています。

SIDS の多くは地理的に遠いため、高い輸出入貿易コストと不安定な国際交通の問題に直面しています。また、脆弱な土地・海洋生態系のために、気候変動、土地劣化、生物多様性の喪失に対して特に脆弱です。さらに、これらの課題は、制度的能力が十分でないことに加え、乏しい財政によって深刻化し、国民の健康状態に大きな影響を与えています。

本報告書は、2019 – 20 年の保健分野の情報と SIDS における WHO の役割を紹介しています。

---

2021 年 6 月 29 日

## **[WHO issues first global report on Artificial Intelligence \(AI\) in health and six guiding principles for its design and use](#)**

Artificial Intelligence (AI) holds great promise for improving the delivery of healthcare and medicine worldwide, but only if ethics and human rights are put at the heart of its design, deployment, and use, according to new WHO guidance published today.

The report, Ethics and governance of artificial intelligence for health, is the result of 2 years of consultations held by a panel of international experts appointed by WHO.

## **保健領域における人口知能のガイドライン – AI 倫理とガバナンス –**

WHO は保健領域における人工知能 (AI) の倫理とガバナンスに関するガイダンスを発表しました。これは倫理、デジタル技術、法律、人権などの分野の第一人者や保健行政の専門家が 18 ヶ月間にわたって検討を重ねた成果です。

人工知能を用いた新技術は、診断、治療、健康調査、医薬品開発を改善し、監視や発生対応など公衆衛生が機能する上で大きな期待が寄せられていますが、報告書によると、この技術は、その設計、展開、使用の中心に倫理と人権を置く必要があります。

本ガイドラインでは、保健分野における人工知能の利用に関する倫理的な課題とリスクを明らかにし、人工知能が公共の利益のためになることを保証する 6 つの原則を示しています。

---

2021年6月29日

## [The future we expect: women's health and gender equality](#)

The World Health Organization (WHO), the United Nations Special Programme HRP and the United Nations University International Institute for Global Health (UNU-IIGH) in partnership with the British Medical Journal (BMJ), have today released a special series of papers on "Women's Health and Gender Inequalities."

The series celebrates and interrogates collective progress towards making the 1995 Beijing Declaration and Platform for Action on Women a reality for all women and girls everywhere, in all their diversity. It launches the week of the Generation Equality Forum's closing meeting, the largest global feminist gathering in more than 25 years.

### **女性は健康問題と経済的、ジェンダー不平等に直面：BMJ 論文**

WHO、国連特別計画 HRP、国連大学グローバルヘルス研究所 (UNU-IIGH) は、ブリティッシュ・メディカル・ジャーナル (BMJ) と共同で、"Women's Health and Gender Inequalities (女性の健康とジェンダー不平等)" に関する特別シリーズの論文を発表しました。

15 カ国の 40 人の著者が執筆し、女性の健康とジェンダー平等を推進するための過去の成功例や証拠に基づく戦略を分析するとともに、新たな脅威についても考察しています。今回のパンデミックでは、女性に対する暴力の増加や、無給の介護の増加、女性が不安定で低賃金のインフォーマルな仕事に従事していることによる経済的な悪影響など、不公平感が増大していることが報告されています。

---

2021年6月30日

## [WHO releases first-ever global guidance for country validation of viral hepatitis B and C elimination](#)

New WHO Guidance for country validation of viral hepatitis B and C elimination is released during a joint EASL-CDC-ECDC and WHO symposium "Viral Hepatitis Elimination – Assessing the progress in 2021" at the EASL International Liver Congress 2021. This represents the first-ever global guidance for countries seeking to validate elimination of hepatitis B virus (HBV) and/or hepatitis C virus (HCV) infection as a public health problem.

### **B 型 C 型ウイルス肝炎撲滅の WHO ガイダンス**

B 型および C 型ウイルス肝炎の撲滅を国レベルで検証するための新しい WHO ガイダンスが発表されました。各国は、B 型および C 型ウイルス性肝炎の両方を一緒に撲滅することが推奨されていますが、4 つの認証オプションのうち 1 つを別々に申請することも可能です。

・選択肢 A: HBV の母子感染の排除 (EMTCT) (HIV、梅毒、HBV のトリプル排除、または HIV/HBV

のトリプル排除の一環として)。

- ・ 選択肢 B：公衆衛生上の問題としての HCV
- ・ 選択肢 C：公衆衛生問題としての HBV (HBV EMTCT を含む)。
- ・ 選択肢 D：公衆衛生上の問題として、HBV と HCV の両方をまとめて排除

このガイダンスでは、入手可能なサーベイランスデータやキャパシティに応じて、目標値を測定するためのさまざまなオプションを提供するとともに、撲滅に向けた進捗状況を評価するためのチェックリストも用意しています。

注) 本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものですので、詳細内容については、WHO ニュースリリース、声明及びメディア向けノートの原文をこちらからご確認下さい。

<https://www.who.int/news-room/releases>

<https://www.who.int/news-room/statements>

<https://www.who.int/news-room/notes>